

大飯発電所3号機の定期検査状況について (加圧器スプレイ配管溶接部における有意な指示について)

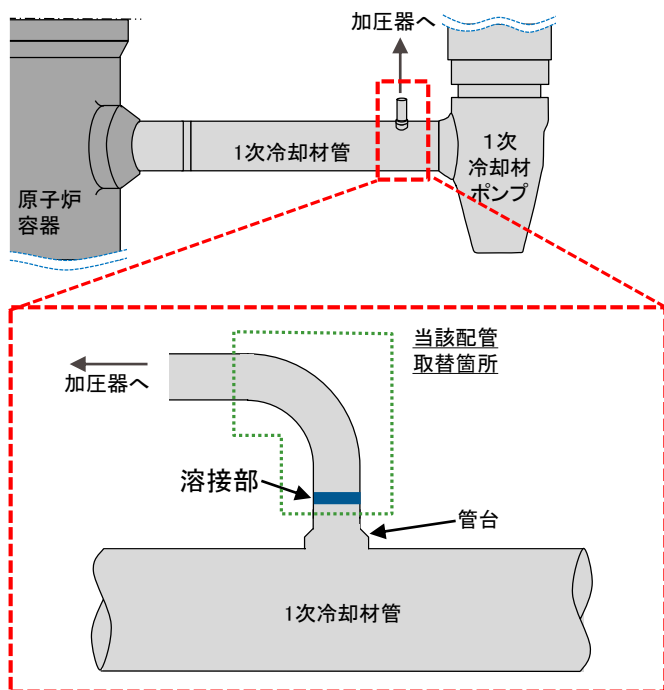
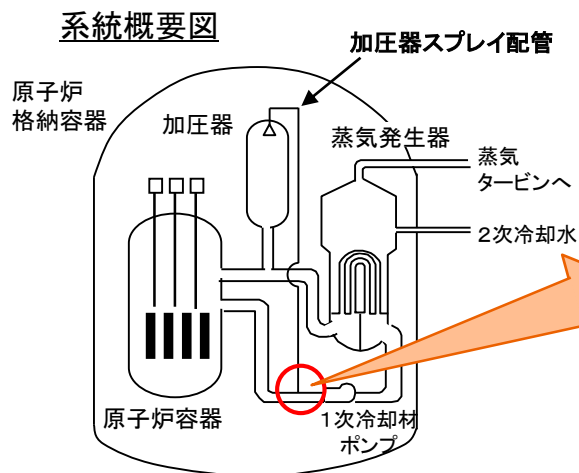
事象概要

加圧器スプレイ配管の超音波探傷検査を実施したところ、1次冷却材管と加圧器スプレイ配管の溶接部付近に傷があると評価しました。設計上の必要最小厚さは満足しています。

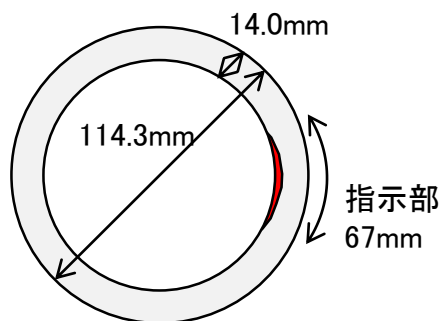
原因は、当該配管の据え付け時に配管内面の表面加工を行った際の硬化層の形成や、溶接に伴う残留応力が想定されること等から強加工応力腐食割れが発生したものと推定しています。

今回の定期検査において当該配管を取り替えます。なお、切り出した配管の詳細な調査を行う予定です。

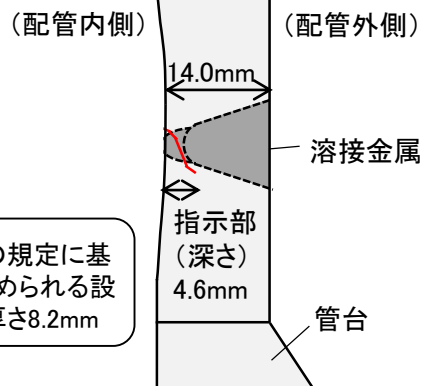
発生箇所



断面図(上面図)



断面図(横断面図)



原子炉等規制法の規定に基づく技術基準で求められる設計上の必要最小厚さ8.2mm

シンニング加工

- 配管の溶接前に配管内面の寸法合わせのため、切削工具(刃)を当て、刃を周方向へ回転させて切削を行う。

